

33

午前の部

試験問題	試験時間
1~99	10時00分~12時30分

● 指示があるまで開かないこと。

＜注意事項＞

1. 問題の数

試験問題は1~99まで99問である。

2. 受験地、受験番号、氏名の記入方法

注意事項を読み終わったら、まず受験地、受験番号、氏名を文字と数字で記入する。次に答案用紙右側の受験地、受験番号の該当する○をマークする(塗りつぶす)。なお、記入にあたっては次の例を参考のこと。

(例) 受験地・東京都、受験番号・00027、氏名・栄養花子の場合

午前

受験地	東京都	受験番号	00027
氏名	栄養花子		

受験地	北海道	宮城県	東京都	愛知県	大阪府	岡山県	福岡県	沖縄県
	○	○	●	○	○	○	○	○
受験番号	万	●①②③④⑤⑥⑦⑧⑨						
	千	●①②③④⑤⑥⑦⑧⑨						
	百	●①②③④⑤⑥⑦⑧⑨						
	拾	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨						
	壹	①②③④⑤⑥●⑦⑧⑨						

### 3. 解答方法

解答方法は次のとおりである。

(1) (例 1) の問題では(1)から(5)までの 5 つの選択肢があるので、そのうち質問に 対する答えを 1 つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例 1) の質問には 2 つ 以上マークした場合は誤りとする。

(例 1)

201 管理栄養士の名称を用いて業務を開始できると定められている日である。正 しいのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 合格発表日
- (2) 合格証書受領日
- (3) 管理栄養士免許申請日
- (4) 管理栄養士名簿登録日
- (5) 免許証受領日

正解は「(4)」であるから答案用紙の問題番号 201 の(④)をマークすればよい。

201	①	②	③	④	⑤
201	①	②	③	<input checked="" type="radio"/>	⑤

(2) (例 2) の問題では(1)から(5)までの 5 つの選択肢があるので、そのうち質問に 対する答えを 2 つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例 2) の質問には 1 つ又は 3 つ以上マークした場合は誤りとする。

(例 2)

202 管理栄養士名簿の登録事項に変更が生じた場合、訂正が必要なものである。 正しいのはどれか。2 つ選べ。

- (1) 氏名
- (2) 住所地
- (3) 本籍地都道府県名(日本の国籍を有しない者については、その国籍)
- (4) 勤務地
- (5) 出身校の所在地

正解は「(1)」「(3)」であるから答案用紙の問題番号 202 の①、③をマークすればよい。

202	①	②	③	④	⑤
202	●	②	●	④	⑤

(3) (例 3) の問題では(1)から(4)までの4つの選択肢があるので、そのうち質問に  
対する答えとして最も適切なものを 1つ選び答案用紙に記入すること。なお、  
(例 3) の質問には 2つ以上マークした場合は誤りとする。

(例 3)

203 管理栄養士に求められる専門職としてのあり方に関する記述である。最も適  
切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 自らの幸福を追求する。
- (2) 人々の生活の質の向上を目指す。
- (3) 特定の関係者との協働を重視する。
- (4) 免許取得時の知識を維持する。

正解は「(2)」であるから答案用紙の問題番号 203 の②をマークすればよい。

203	①	②	③	④
203	①	●	③	④

#### 4. その他の注意事項

(1) 答案の作成には H B の鉛筆を使用し濃くマークすること、○の外にはみ出  
さないように注意すること。

良い解答の例…… ● (濃くマークすること。)

悪い解答の例…… ○× ○× ○× ○○ ○○ (解答にならない。)

(2) 答えを修正した場合は必ず「消しゴム」あとが残らないように完全に消すこ  
と。鉛筆の色が残ったり × のような消し方などをした場合は、修正したこと  
にはならないので注意すること。

(3) 答案用紙は折り曲げたりメモ等で汚したりしないよう特に注意すること。

1 国内外の公衆衛生・予防医学に関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ジョン・スノウは、結核の流行様式を解明した。
- (2) プライマリヘルスケアは、アルマ・アタ宣言で示された。
- (3) ヘルスプロモーションは、ウインスローにより提唱された。
- (4) わが国の国民皆保険は、第二次世界大戦前に確立された。
- (5) わが国の保健所の数は、近年増加している。

2 大気汚染物質とその健康影響の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 光化学オキシダント ————— 肺がん
- (2) 二酸化窒素 ————— 中枢神経障害
- (3) 微小粒子状物質(PM 2.5) ————— 気管支喘息
- (4) トリクロロエチレン ————— 糖尿病
- (5) ダイオキシン類 ————— 慢性気管支炎

3 水道水の水質基準において、「検出されないこと」とされているものである。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 一般細菌
- (2) 大腸菌
- (3) 水銀
- (4) 放射性セシウム
- (5) トリハロメタン

4 わが国の保健統計指標とその基となる資料の組合せである。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 老年人口指数 ————— 人口動態統計
- (2) 通院者率 ————— 国勢調査
- (3) 食料費 ————— 国民健康・栄養調査
- (4) 平均余命 ————— 患者調査
- (5) 胃がん検診の受診率 ————— 国民生活基礎調査

5 疾病のスクリーニングに関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ROC曲線は、縦軸を敏感度、横軸を特異度として描く。
- (2) 偽陽性率は、敏感度を高くすれば低くなる。
- (3) 敏感度と特異度が一定の場合、陽性反応的中度は、有病率が高くなると低くなる。
- (4) スクリーニング検査は、有病率が高い疾病に適している。
- (5) スクリーニングは、疾病的診断を目的とする。

6 根拠(エビデンス)に基づいた医療(EBM)に関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 診療ガイドラインの作成は、法律で定められている。
- (2) 系統的レビューは、研究倫理審査委員会の報告書のことを指す。
- (3) メタアナリシスは、複数の研究において得られた効果を総合的に判断するときには有用である。
- (4) 臨床経験の豊富な権威による意見は、質の高いエビデンスとみなされる。
- (5) 民間企業との共同研究で得られた成果は、利益相反を開示しなくてもよい。

7 喫煙に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 主流煙は、副流煙より有害物質を多く含む。
- (2) 禁煙治療は、保険診療で認められていない。
- (3) わが国は、WHO のたばこ規制枠組条約(FCTC)を批准していない。
- (4) 受動喫煙の防止は、健康増進法で定められている。
- (5) 未成年者喫煙禁止法は、第二次世界大戦後に制定された。

8 習慣的な運動の影響に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 血清 HDL-コレステロール値を上昇させる。
- (2) インスリン感受性を低下させる。
- (3) 認知機能を改善する。
- (4) うつ状態を改善する。
- (5) 結腸がんのリスクを低減する。

9 睡眠と生活リズムに関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 概日リズムを調節しているのは、ドーパミンである。
- (2) 概日リズムは、部屋を暗くすることでリセットされる。
- (3) 夢を見るのは、ノンレム睡眠時に多い。
- (4) 睡眠時無呼吸は、心筋梗塞のリスク因子である。
- (5) 不眠症には、寝酒が有効である。

10 循環器疾患に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 喫煙は、くも膜下出血のリスク因子である。
- (2) 血清総コレステロール高値は、脳梗塞のリスク因子である。
- (3) 脳血管疾患の年齢調整死亡率は、女性の方が男性よりも高い。
- (4) 最近の脳血管疾患の年齢調整死亡率は、上昇傾向である。
- (5) 傷病分類別医科診療医療費は、呼吸器系の疾患よりも少ない。

11 わが国の中等教育に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 日本国憲法第25条に基づいている。
- (2) 医療保険制度では、現物給付が行われる。
- (3) 社会保障給付費の財源で最も多いのは、社会保険料である。
- (4) 75歳以上の高齢者は、後期高齢者医療制度に加入する。
- (5) 公務員は、国民健康保険に加入する。

12 わが国の医療制度に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 正常な妊娠や分娩に要する費用は、国民医療費に含まれる。
- (2) 特定健康診査の費用は、国民医療費に含まれる。
- (3) 病院とは、病床数が20床以上の医療施設である。
- (4) 無床診療所とは、医師が一人しかいない医療施設である。
- (5) 基準病床数とは、各医療機関が備えるべき病床数である。

13 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスに関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) サービスの申請は、都道府県に対して行う。
- (2) 利用できるサービスは、所得区分で示されている。
- (3) サービスの利用は、通所に限られる。
- (4) 利用者の費用負担には、上限はない。
- (5) 難病患者は、対象となる。

14 1市3町を管轄する保健所の業務である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 飲食店の営業許可
- (2) 精神保健福祉の専門相談
- (3) 結核発生時の接触者健康診断
- (4) 地域保健医療計画の作成
- (5) がん検診の実施

- 15 母子保健に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 母子健康手帳は、都道府県が交付する。
  - (2) 母子健康手帳の省令様式には、乳幼児身体発育曲線が含まれる。
  - (3) 未熟児に対する養育医療の給付は、都道府県が行う。
  - (4) 先天性代謝異常等検査は、3歳児健康診査で実施される。
  - (5) 乳幼児突然死症候群の予防対策には、うつぶせ寝の推進が含まれる。
- 16 労働衛生の3管理に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 腰痛予防のための作業姿勢の改善は、健康管理である。
  - (2) 熱中症予防のための作業時間制限は、作業環境管理である。
  - (3) 過労死防止のための長時間労働者に対する産業医の面談は、作業環境管理である。
  - (4) 騒音による難聴予防のための耳栓の使用は、作業管理である。
  - (5) 有害業務における生産工程の変更は、作業管理である。
- 17 学校保健に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 学校保健活動の総括責任者は、保健主事である。
  - (2) 就学時の健康診断の実施主体者は、学校である。
  - (3) 小学校の健康診断で被患率が最も高いのは、裸眼視力1.0未満である。
  - (4) 心電図検査は、2年に1度実施される。
  - (5) 麻しんによる出席停止期間は、解熱後3日を経過するまでである。
- 18 ヒトの細胞の分裂と分化に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 受精卵は、多能性を有する細胞である。
  - (2) 胚性幹(ES)細胞は、分化した細胞である。
  - (3) 細胞の染色体数は、減数分裂により46本になる。
  - (4) 体細胞分裂は、細胞周期の間期に起こる。
  - (5) 体細胞のテロメアは、細胞分裂に伴って伸長する。

19 たんぱく質、糖質および脂質に関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1)  $\beta$  シートは、アミノ酸側鎖間の結合により形成される。
- (2) たんぱく質の4次構造は、複数のサブユニットで形成される。
- (3) フルクトースは、ラクトースの構成要素である。
- (4) ヒアルロン酸は、長鎖脂肪酸である。
- (5) 人体を構成する不飽和脂肪酸の大部分は、トランス型である。

20 核酸の構造と機能に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) RNA鎖は、2重らせん構造をとる。
- (2) DNA鎖中でアデニンに対応する相補的塩基は、シトシンである。
- (3) ヌクレオチドは、六炭糖を含む。
- (4) DNAからmRNA(伝令RNA)が合成される過程を、翻訳と呼ぶ。
- (5) 尿酸は、プリン体の代謝産物である。

21 生体エネルギーと代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 褐色脂肪細胞には、脱共役たんぱく質(UCP)が存在する。
- (2) 電子伝達系は、ミトコンドリアの外膜にある。
- (3) 嫌気的解糖では、1分子のグルコースから3分子のATPを生じる。
- (4) AMPは、高エネルギーリン酸化合物である。
- (5) 脂肪酸は、コリ回路によりグルコースとなる。

22 代謝と酵素反応に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) グルコースは、代謝されると尿素になる。
- (2) 脂肪酸は、代謝されるとアンモニアになる。
- (3) 酵素反応の速度は、至適pHで最大となる。
- (4) トリプシンの至適pHは、酸性領域にある。
- (5) ペプシンの至適pHは、アルカリ性領域にある。

- 23 糖質・脂質代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- クエン酸回路では、糖新生が行われる。
  - グルカゴンは、肝臓のグリコーゲン分解を促進する。
  - 赤血球は、脂肪酸をエネルギー源として利用する。
  - HMG-CoA還元酵素は、脂肪酸合成における律速酵素である。
  - コレステロールエステル転送タンパク質(CETP)は、コレステロールをエ斯特化する。
- 24 生体の情報伝達に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- 脂溶性ホルモンの受容体は、細胞膜にある。
  - セカンドメッセンジャーは、細胞間の情報伝達に働く。
  - 副交感神経終末の伝達物質は、アセチルコリンである。
  - シナプスにおける情報伝達は、双方向である。
  - 神経活動電位の伝導速度は、無髓纖維が有髓纖維より速い。
- 25 個体の恒常性に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- 過呼吸では、呼吸性アシドーシスがみられる。
  - アルドステロンの過剰分泌により、代謝性アルカローシスが起きる。
  - メラトニンは、夜間に分泌が減少する。
  - 不感蒸泄では、電解質の喪失がみられる。
  - 食物摂取後は、生体における熱産生が抑制される。
- 26 加齢・疾患に伴う変化に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- 褐色脂肪細胞は、加齢とともに増加する。
  - リポフスチンの細胞内への沈着は、加齢とともに減少する。
  - 良性腫瘍は、悪性腫瘍と比べて細胞の分化度が低い。
  - 血管透過性は、炎症の急性期に亢進する。
  - 肉芽組織は、炎症の急性期に形成される。

27 臨床検査に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 基準値は、健常者の測定値の 75% が含まれる範囲である。
- (2) 心電図の P 波は、心室の興奮を反映している。
- (3) 便潜血反応は、大腸がんのスクリーニングとして用いられる。
- (4) ALT の上昇は、心臓疾患に特異的である。
- (5) CT(コンピュータ断層撮影)は、磁気を利用する検査である。

28 治療の種類とその例の組合せである。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 対症療法 —— 発熱の患者に対する解熱鎮痛薬の投与
- (2) 原因療法 —— C型慢性肝炎に対する抗ウイルス療法
- (3) 化学療法 —— 子宮頸がんに対する放射線照射
- (4) 理学療法 —— 脳梗塞後の麻痺に対するリハビリテーション
- (5) 緩和療法 —— がん患者に対する精神的ケア

29 栄養・代謝に関わるホルモン・サイトカインに関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) グレリンは、食前に比べて食後に分泌が増加する。
- (2) レプチンは、エネルギー代謝を抑制する。
- (3) アディポネクチンは、インスリン抵抗性を増大させる。
- (4) TNF- $\alpha$ (腫瘍壞死因子  $\alpha$ )は、インスリン抵抗性を軽減する。
- (5) インクレチンは、インスリン分泌を亢進させる。

30 胆汁と膵液に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 胆汁は、胆嚢で產生される。
- (2) 胆汁は、リバーゼを含む。
- (3) 胆汁は、脂肪を乳化する。
- (4) 膵液は、膵島(ランゲルハンス島)から分泌される。
- (5) 膵液は、酸性である。

31 循環器疾患に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 心房細動は、脳出血のリスク因子である。
- (2) 心室細動は、致死性不整脈である。
- (3) 心筋梗塞による胸痛には、ニトログリセリンが有効である。
- (4) 仮面高血圧では、家庭血圧は正常である。
- (5) 右心不全では、肺うっ血をきたす。

32 脳血管障害に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ラクナ梗塞は、脳動脈瘤がリスク因子である。
- (2) 一過性脳虚血発作(TIA)は、脳出血の前駆症状である。
- (3) 脳出血は、頭部CTで低吸収領域として示される。
- (4) くも膜下出血は、症状に激烈な頭痛がある。
- (5) 脳塞栓は、症状発現が緩徐である。

33 腎臓の構造と機能に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 原尿は、尿細管で生成される。
- (2) 糸球体に流入する血液は、静脈血である。
- (3) アルドステロンは、カリウムの再吸収を促進する。
- (4) バソプレシンは、水の再吸収を促進する。
- (5) 糸球体濾過量は、腎血流量の約90%である。

34 腎・尿路系疾患に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 急激な腎血流量減少は、腎前性急性腎不全の原因になる。
- (2) 糖尿病腎症の第4期は、たんぱく尿の出現で判定される。
- (3) 慢性腎不全では、低リン血症がみられる。
- (4) 腎代替療法のうち最も多いのは、腎移植である。
- (5) 無尿は、透析導入の必須項目である。

35 内分泌疾患に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 原発性アルドステロン症では、高カリウム血症がみられる。
- (2) 甲状腺機能亢進症では、徐脈がみられる。
- (3) ADH 不適切分泌症候群(SIADH)では、高ナトリウム血症がみられる。
- (4) 褐色細胞腫では、低血糖がみられる。
- (5) クッシング症候群では、中心性肥満がみられる。

36 神経疾患に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 脚気では、末梢神経の障害がみられる。
- (2) 葉酸欠乏症では、脊髄の変性がみられる。
- (3) レビー小体型認知症の原因は、脳血管障害である。
- (4) アルツハイマー型認知症では、パーキンソン病様症状がみられる。
- (5) パーキンソン病では、錐体路の機能障害がみられる。

37 肺炎に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) クリプトコッカスは、細菌性肺炎の原因となる。
- (2) 肺炎球菌は、非定型肺炎の原因となる。
- (3) 市中肺炎は、入院後48時間以降に発症した肺炎である。
- (4) 院内肺炎は、日和見感染であることが多い。
- (5) 誤嚥性肺炎は、肺の上葉に好発する。

38 骨に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 骨の主な無機質成分は、炭酸カルシウムである。
- (2) 骨端軟骨は、骨端の関節面を覆う。
- (3) 骨への力学的負荷は、骨量を増加させる。
- (4) 骨芽細胞は、骨吸収を行う。
- (5) ビスホスホネート薬は、骨吸収を促進する。

39 神経系の構造と機能に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 交感神経が興奮すると、消化管の運動は亢進する。
- (2) 副交感神経が興奮すると、唾液の分泌は減少する。
- (3) 摂食中枢は、延髄にある。
- (4) 三叉神経は、味覚の伝達に関与する。
- (5) 味蕾は、味覚の受容器である。

40 生殖器の構造と機能に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 卵巣は、卵胞刺激ホルモンを分泌する。
- (2) 子宮は、底部で腔と連続している。
- (3) 子宮内膜の増殖は、エストロゲンで促進される。
- (4) 前立腺は、内分泌腺である。
- (5) 精子は、精囊で作られる。

41 貧血に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ビタミン B<sub>6</sub>欠乏は、巨赤芽球性貧血をきたす。
- (2) 銅の欠乏は、再生不良性貧血をきたす。
- (3) 溶血性貧血では、ハプトグロビン高値となる。
- (4) 腎性貧血では、エリスロポエチン高値となる。
- (5) 鉄欠乏性貧血では、不飽和鉄結合能(UIBC)高値となる。

42 免疫グロブリンに関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 1本のH鎖と1本のL鎖から構成される。
- (2) 液性免疫を担当する。
- (3) 血中に最も多く存在するのは、IgEである。
- (4) 母乳中に最も多く存在するのは、IgMである。
- (5) IgAは、胎盤を通過する。

43 免疫・アレルギー疾患とその特徴的な症候の組合せである。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 急性糸球体腎炎 ————— 低血圧
- (2) 強皮症 ————— 蝶形紅斑
- (3) シェーグレン症候群 ————— 唾液分泌低下
- (4) バセドウ病 ————— 体重増加
- (5) 橋本病 ————— 眼球突出

44 感染症の感染経路に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 結核は、空気感染である。
- (2) コレラは、水系感染である。
- (3) アニサキスは、いかの生食で感染する。
- (4) 風疹は、胎児に垂直感染する。
- (5) C型肝炎は、経口感染である。

45 いも類に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) じゃがいもの食用部は、塊根である。
- (2) さつまいもの主な炭水化物は、グルコマンナンである。
- (3) きくいもの主な炭水化物は、イヌリンである。
- (4) こんにゃくいもの主な炭水化物は、タピオカの原料となる。
- (5) さといもの粘性物質は、ポリグルタミン酸である。

46 果実類に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) パパイヤに含まれるたんぱく質分解酵素は、ブロメラインである。
- (2) うんしゅうみかんの果肉に含まれる主なカロテノイドは、 $\beta$ -クリプトキサンチンである。
- (3) レモンの酸味は、酒石酸による。
- (4) グレープフルーツの苦味は、ヌートカトンによる。
- (5) りんごの特有な食感は、石細胞による。

47 牛乳に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 主な糖質は、マンノースである。
- (2) 主な脂質は、リン脂質である。
- (3) 中鎖脂肪酸が含まれているのが特徴である。
- (4) 加熱で変性するたんぱく質は、カゼインである。
- (5) LL牛乳は、低温長時間殺菌法で殺菌される。

48 調味料に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) みその褐色は、酵素反応による。
- (2) しょうゆのうま味は、全窒素分を指標とする。
- (3) みりん風調味料は、混成酒である。
- (4) バルサミコ酢の原料は、りんごである。
- (5) マヨネーズは、油中水滴型(W/O型)エマルションである。

49 食品の水分に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 水分活性は、食品の結合水が多くなると低下する。
- (2) 微生物は、水分活性が低くなるほど増殖しやすい。
- (3) 脂質は、水分活性が低くなるほど酸化反応を受けにくい。
- (4) 水素結合は、水から氷になると消失する。
- (5) 解凍時のドリップ量は、食品の緩慢凍結によって少なくなる。

50 食品とその色素成分の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) とうがらし ——— カプサイシン
- (2) すいか ——— リコ펜
- (3) いちご ——— ベタニン
- (4) 赤ビート ——— フィコエリスリン
- (5) 卵黄 ——— レンチオニン

51 食品の呈味とその主成分に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) わさびの辛味は、ピペリンによる。
- (2) 干しあじたけのうま味は、グルタミン酸による。
- (3) にがうりの苦味は、テオフィリンによる。
- (4) 柿の渋味は、不溶性ペクチンによる。
- (5) たけのこのえぐ味は、ホモゲンチジン酸による。

52 食品の物性に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 牛乳のカゼインミセルは、半透膜を通過できる。
- (2) 寒天ゲルは、熱不可逆性のゲルである。
- (3) ゼリーは、分散媒が液体で分散相が固体である。
- (4) クッキーは、分散媒が固体で分散相が液体である。
- (5) ケチャップは、ダイラタンシーグルの示す。

53 食品衛生行政に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 保健所に配置される食品衛生監視員は、厚生労働大臣が任命する。
- (2) 検疫所は、食中毒が発生した場合に原因究明の調査を行う。
- (3) 検疫所は、輸入食品の衛生監視を担当している。
- (4) 消費者庁長官は、食品中の農薬の残留基準を定める。
- (5) 食品安全委員会は、厚生労働省に設置されている。

54 食品の変質に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 油脂の酸敗は、窒素ガスの充填によって抑制される。
- (2) アンモニアは、魚肉から発生する揮発性塩基窒素の成分である。
- (3) 硫化水素は、食肉の含硫アミノ酸が微生物によって分解されて発生する。
- (4) ヒスタミンは、ヒスチジンが脱アミノ化されることで生成する。
- (5) K 値は、ATP 関連化合物が酵素的に代謝されると上昇する。

55 細菌性およびウイルス性食中毒に関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ウエルシュ菌は、通性嫌気性芽胞菌である。
- (2) 黄色ブドウ球菌の毒素は、煮沸処理では失活しない。
- (3) サルモネラ菌による食中毒の潜伏期間は、5～10日程度である。
- (4) ノロウイルスは、乾物からは感染しない。
- (5) カンピロバクターは、海産魚介類の生食から感染する場合が多い。

56 腸管出血性大腸菌による食中毒に関する記述である。

誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 少量の菌数でも感染する。
- (2) 毒素は、テトロドトキシンである。
- (3) 潜伏期間は、2～10日間程度である。
- (4) 主な症状は、腹痛と血便である。
- (5) 溶血性尿毒症症候群(HUS)に移行する場合がある。

57 食品中の汚染物質に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ポリ塩化ビフェニル(PCB)は、水に溶けやすい。
- (2) デオキシニバレノールは、りんごを汚染するカビ毒である。
- (3) ストロンチウム90は、甲状腺に沈着しやすい。
- (4) メチル水銀の毒性は、中枢神経系に現れる。
- (5) アフラトキシンは、調理加熱で分解されやすい。

58 食品添加物に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 無毒性量は、ヒトへの試験をもとに設定される。
- (2) 使用基準は、一日摂取許容量(ADI)を超えないように設定される。
- (3) 指定添加物は、消費者庁長官によって指定される。
- (4) ソルビン酸カリウムは、酸化防止の目的で添加される。
- (5) オルトフェニルフェノールは、漂白の目的で添加される。

59 特定保健用食品の関与成分とその表示の組合せである。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) キトサン ————— 「血圧の高めの方に適する食品」
- (2) カゼイン由来ペプチド —— 「コレステロールが高めの方に適する食品」
- (3) フラクトオリゴ糖 ——— 「血糖値の気になり始めた方の食品」
- (4) パラチノース ——— 「虫歯の原因になりにくい食品」
- (5) L-アラビノース ——— 「ミネラルの吸収を助ける食品」

60 食品表示法に基づく一般用加工食品の栄養成分表示に関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 一般用加工食品には、栄養成分表示が推奨されている。
- (2) 栄養成分の量および熱量の表示単位は、1食当たりとしなければならない。
- (3) 熱量、たんぱく質、脂質、炭水化物および食塩相当量以外の栄養成分についての表示はできない。
- (4) ナトリウム塩を添加していない食品は、「食塩相当量」を「ナトリウム ○ mg (食塩相当量 △ g)」に変えて表示してもよい。
- (5) 100 g 当たり糖類 1 g 以下の食品は、「糖類ゼロ」と表示可能である。

61 食品の成分規格に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 牛乳は、乳脂肪分が 2.8% 以上のものをいう。
- (2) アイスクリームは、乳脂肪分が 8.0% 以上のものをいう。
- (3) 殺菌液卵は、サルモネラ属菌が検出されなければならない。
- (4) 米中のカドミウム含量は、0.01 ppm を超えてはならない。
- (5) 一般食品の放射性セシウムの基準値は、500 Bq/kg である。

62 食品の加工に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 遺伝子組換え食品は、加工食品に利用できない。
- (2) 小麦粉は、一次加工食品である。
- (3) 手作りの味噌は、二次加工食品である。
- (4) 精白米は、二次加工食品である。
- (5) マヨネーズは、三次加工食品である。

63 食品の保存に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 微生物の生育は、食品を冷蔵保存することで止まる。
- (2) 米飯の老化は、冷凍保存に比べて冷蔵保存で抑制される。
- (3) 魚肉の脂質の酸化は、長期冷凍保存では起こらない。
- (4) さつまいもは、10℃以下で貯蔵する。
- (5) 野菜の呼吸作用は、室温保存中も進行する。

64 食品成分の変化に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ビタミンB<sub>2</sub>は、光照射で分解する。
- (2) イノシン酸は、脂肪酸の分解物である。
- (3) なすの切り口が短時間で褐変するのは、メイラード反応による。
- (4) だいこんの辛みが生成するのは、アリイナーゼの反応による。
- (5) りんご果汁の濁りは、ミロシナーゼ処理で除去できる。

65 食品の嗜好要因とその測定機器の組合せである。

誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 水分 ————— 加熱乾燥式水分計
- (2) 無機質(ミネラル) ————— 原子吸光分光光度計
- (3) テクスチャー ————— 味覚センサー
- (4) 有機酸 ————— 高速液体クロマトグラフィー
- (5) 温度 ————— 热電対

66 食品の酵素的褐変を防ぐ調理操作に関する記述である。

誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 水にさらす。
- (2) 酢水に浸す。
- (3) 食塩水に浸す。
- (4) レモン汁をかける。
- (5) 40°Cで保温する。

67 加熱調理に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 電子レンジでは、ほうろう容器に入れて加熱する。
- (2) 電気コンロには、アルミ鍋が使用できない。
- (3) 天ぷらの揚げ油の適温は、250°Cである。
- (4) 热伝導率は、アルミニウムよりステンレスの方が小さい。
- (5) 热を速く伝えるためには、热伝導率が小さい鍋が適している。

68 野菜の調理操作に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 緑色野菜を鮮緑色にゆでるために、ゆで水を酸性にする。
- (2) 煮崩れ防止のために、ゆで水をアルカリ性にする。
- (3) 山菜のあくを除くために、食酢でゆでる。
- (4) 十分に軟化させるために、60°Cで加熱する。
- (5) 生野菜の歯ごたえを良くするために、冷水につける。

69 食事に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 客をもてなす食事を、供應食という。
- (2) 日常食を、ハレの食事という。
- (3) 中国料理のスープを、点心という。
- (4) 家庭で調理して食べる食事を、中食という。
- (5) 立食形式のセルフサービスの食事を、正餐という。

70 摂食行動の調節に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) グルコース濃度の上昇により、空腹感が生じる。
- (2) 遊離脂肪酸濃度の上昇により、満腹感が生じる。
- (3) インスリンは、食欲を抑制する。
- (4) レプチンは、食欲を促進する。
- (5) ゲレリンは、食欲を抑制する。

71 栄養素の吸収に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 受動輸送の速度は、細胞内外の濃度差が大きいほど遅くなる。
- (2) 促進拡散は、細胞内外の濃度勾配に逆らって輸送する機構である。
- (3) フルクトースは、 $\text{Na}^+$ と共に吸収される。
- (4) ジペプチドは、 $\text{H}^+$ と共に吸収される。
- (5) コレステロールの吸収は、胆汁酸を必要としない。

72 栄養素の消化と吸収に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) でんぶんが $\alpha$ -アミラーゼにより加水分解されると、主にグルコースが生成される。
- (2) たんぱく質の消化は、十二指腸から始まる。
- (3) トリアシルグリセロールの消化は、回腸から始まる。
- (4) 2価鉄( $\text{Fe}^{2+}$ )は、3価鉄( $\text{Fe}^{3+}$ )となり吸収される。
- (5) ビタミンB<sub>12</sub>の吸収には、内因子との結合が必要である。

73 たんぱく質とアミノ酸の代謝に関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) たんぱく質の摂取量が不足すると、窒素出納は正になる。
- (2) たんぱく質の摂取量が増加すると、尿中への尿素排泄量は減少する。
- (3) アルブミンは、腎臓で合成される。
- (4) トリプトファンは、パントテン酸に変換される。
- (5) バリンは、糖新生に利用される。

74 摂取するたんぱく質の量と質の評価に関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 無たんぱく質食摂取時には、窒素の糞便中排泄はない。
- (2) アミノ酸インバランスは、可欠アミノ酸の過剰摂取により起こる。
- (3) 正味たんぱく質利用率は、たんぱく質栄養価の化学的評価法である。
- (4) 小麦たんぱく質の第一制限アミノ酸は、リシンである。
- (5) アミノ酸の補足効果は、卵白たんぱく質に対して発揮される。

75 糖質の代謝に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 腎臓は、糖新生を行う。
- (2) 吸収された単糖類は、リンパ管を介して肝臓に運ばれる。
- (3) 肝臓は、グルコースから脂肪酸を合成できない。
- (4) 骨格筋は、グルコース 6-リン酸からグルコースを生成する。
- (5) 脳は、飢餓の時にケトン体を利用する。

76 血糖とその調節に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) アドレナリンは、血糖値を低下させる。
- (2) ゲルココルチコイドは、血糖値を低下させる。
- (3) チロキシンは、血糖値を低下させる。
- (4) インスリンは、血中グルコースの脂肪組織への取り込みを促進する。
- (5) 血糖値が低下すると、骨格筋におけるグルコース消費は促進される。

77 食後の脂質代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 血中の VLDL 濃度は、低下する。
- (2) 血中の遊離脂肪酸濃度は、上昇する。
- (3) 肝臓でトリアシルグリセロールの合成は、亢進する。
- (4) 肝臓でケトン体の產生は、亢進する。
- (5) 脂肪組織でホルモン感受性リバーゼ活性は、上昇する。

78 コレステロール代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) コレステロールは、エネルギー源として利用される。
- (2) コレステロールは、甲状腺ホルモンの原料となる。
- (3) コレステロールの合成は、食事性コレステロールの影響を受けない。
- (4) 胆汁酸は、腸内細菌により代謝される。
- (5) 胆汁酸は、大部分が空腸で再吸収される。

79 ビタミン B 群に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ビタミン B<sub>1</sub> が欠乏すると、血中の乳酸値が低下する。
- (2) ナイアシンの必要量は、エネルギー消費量が多くなると増加する。
- (3) ビタミン B<sub>6</sub> の必要量は、たんぱく質の摂取量が多くなると減少する。
- (4) 葉酸が欠乏すると、悪性貧血になる。
- (5) ビタミン B<sub>12</sub> が欠乏すると、血中ホモシステイン値が低下する。

80 ビタミン C に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 体内に蓄積しやすい。
- (2) 還元作用をもつ。
- (3) 非ヘム鉄の吸収を抑制する。
- (4) 欠乏すると、血液凝固が亢進する。
- (5) 腸内細菌によって合成される。

- 81 鉄の栄養に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 消化管における非ヘム鉄の吸収率は、ヘム鉄と比べて高い。
  - (2) 消化管における非ヘム鉄の吸収率は、鉄欠乏により低下する。
  - (3) 体内の総鉄量の大部分は、貯蔵鉄として存在する。
  - (4) 体内の機能鉄の大部分は、骨格筋に存在する。
  - (5) 赤血球の破壊で遊離した鉄は、ヘモグロビンの合成に再利用される。
- 82 水と電解質に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 成人男性の血漿量は、体水分量の約70%を占める。
  - (2) 糖質と脂質、各々1gから生成される代謝水は、同量である。
  - (3) 不感蒸泄には、発汗が含まれる。
  - (4) 水分欠乏型脱水では、血漿浸透圧が低くなる。
  - (5) バソプレシンの分泌は、体水分量が不足すると促進される。
- 83 エネルギー代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) メツツ(METs)は、身体活動時のエネルギー消費量を基礎代謝量で除して求める。
  - (2) 身体活動レベル(PAL)は、1日の総エネルギー消費量を安静時代謝量で除して求める。
  - (3) 体内におけるたんぱく質の燃焼量は、尿中に排泄された窒素量から求める。
  - (4) 呼吸商は、酸素消費量を二酸化炭素排出量で除して求める。
  - (5) グルコースが燃焼した場合の呼吸商は、0.7である。
- 84 動的栄養アセスメントの指標である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) BMI(kg/m<sup>2</sup>)
  - (2) 上腕三頭筋部皮下脂肪厚
  - (3) 血清トランスフェリン値
  - (4) クレアチニン身長係数
  - (5) 遅延型皮膚過敏反応

85 日本人の食事摂取基準(2015年版)において、1歳以上で推奨量(RDA)が設定されている栄養素である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) n-3系脂肪酸
- (2) 炭水化物
- (3) ビタミンD
- (4) ビタミンB<sub>1</sub>
- (5) カリウム

86 日本人の食事摂取基準(2015年版)における策定の基本的事項に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 摂取源には、サプリメントは含まれない。
- (2) 参照体位は、望ましい体位を示している。
- (3) BMI(kg/m<sup>2</sup>)は、18歳以上のエネルギー収支バランスの指標である。
- (4) 高齢者の年齢区分は、65歳以上である。
- (5) 目安量(AI)は、生活習慣病の予防を目的とした指標である。

87 日本人の食事摂取基準(2015年版)の小児に関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 1歳児の基礎代謝基準値は、4歳児より低い。
- (2) 身体活動レベル(PAL)は、2区分である。
- (3) 炭水化物の目標量(DG)は、成人に比べ高い。
- (4) 脂質の目標量(DG)は、男女で異なる。
- (5) 鉄の推定平均必要量(EAR)は、要因加算法で算出した。

88 成長・発達・加齢に伴う変化に関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 体水分量に占める細胞外液の割合は、新生児期より成人期の方が大きい。
- (2) 胸腺重量は、成人期に最大となる。
- (3) 糸球体濾過量は、成人期より高齢期の方が大きい。
- (4) 塩味の閾値は、成人期より高齢期の方が高い。
- (5) 唾液分泌量は、成人期より高齢期の方が多い。

89 妊娠期の身体的変化に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 体重は、一定の割合で増加する。
- (2) 基礎代謝量は、増加する。
- (3) 循環血液量は、減少する。
- (4) ヘモグロビン濃度は、上昇する。
- (5) インスリン感受性は、高まる。

90 日本人の食事摂取基準(2015年版)において、授乳婦に付加量が設定されている栄養素である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) たんぱく質
- (2) ビタミン A
- (3) 葉酸
- (4) カルシウム
- (5) 鉄

91 牛乳より母乳に多く含まれる成分である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) たんぱく質
- (2) 飽和脂肪酸
- (3) 乳糖
- (4) カルシウム
- (5) リン

- 92 離乳の進め方に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 離乳の開始前に、果汁を与えることが必要である。
  - (2) 離乳の開始とは、なめらかにすりつぶした食物を初めて与えた時をいう。
  - (3) 離乳の開始後ほぼ1か月間は、離乳食を1日2回与える。
  - (4) 調味料は、離乳食の開始時から必要である。
  - (5) 母乳は、離乳の開始後与えないようにする。
- 93 幼児期に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 1年間の体重増加量は、乳児期より大きい。
  - (2) 体脂肪率は、乳児期に比べて高くなる。
  - (3) カウプ指数による肥満判定基準は、男女で異なる。
  - (4) 貧血の主な原因は、鉄欠乏である。
  - (5) 間食は、総エネルギー摂取量の約30%とする。
- 94 思春期の男子に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 性腺刺激ホルモンの分泌は、思春期前に比べ低下する。
  - (2) 年間身長増加量が最大となる時期は、女子より早い。
  - (3) 見かけのカルシウム吸収率は、成人男性より低い。
  - (4) 1日当たりのカルシウム体内蓄積量は、思春期前半に最大となる。
  - (5) 鉄欠乏性貧血は、思春期の女子より多い。
- 95 サルコペニアに関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。
- (1) 握力は、低下する。
  - (2) 歩行速度は、保たれる。
  - (3) 加齢が、原因となる。
  - (4) 食事の摂取量低下が、原因となる。
  - (5) ベッド上安静が、原因となる。

96 成人期と比較して高齢期で低下する項目である。

誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 基礎代謝量
- (2) 体重1kg当たりのたんぱく質必要量
- (3) 嚥下機能
- (4) 骨密度
- (5) 肺活量

97 運動時の身体への影響に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 筋肉中の乳酸は、無酸素運動では減少する。
- (2) 遊離脂肪酸は、瞬発的運動時の主なエネルギー基質となる。
- (3) 瞬発的運動では、速筋線維より遅筋線維が利用される。
- (4) 酸素摂取量は、運動強度を高めていくと増加し、その後一定となる。
- (5) 消化管の血流量は、激しい運動で増加する。

98 ストレス応答の抵抗期に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) エネルギー代謝は、低下する。
- (2) 窒素出納は、負に傾く。
- (3) 副腎皮質ホルモンの分泌は、減少する。
- (4) ビタミンCの需要は、減少する。
- (5) カルシウムの尿中排泄量は、減少する。

99 特殊環境と栄養に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 外部環境の影響を受けやすいのは、表面温度より中心温度である。
- (2) WBGT(湿球黒球温度)が上昇したときは、水分摂取を控える。
- (3) 低温環境下では、皮膚の血流量が増加する。
- (4) 高圧環境から急激に減圧すると、体内の溶存ガスが気泡化する。
- (5) 低圧環境下では、肺胞内酸素分圧が上昇する。

33

午後の部

試験問題	試験時間
100~200	13時45分~16時20分

- 指示があるまで開かないこと。

### 《注意事項》

## 1. 問題の数

試験問題は 100~200 まで 101 問である。

## 2. 受験地、受験番号、氏名の記入方法

注意事項を読み終わったら、まず受験地、受験番号、氏名を文字と数字で記入する。次に答案用紙右側の受験地、受験番号の該当する○をマークする(塗りつぶす)。なお、記入にあたっては次の例を参考のこと。

(例) 受験地・東京都、受験番号・00027、氏名・栄養花子の場合

午後

受験地	東京都	受験番号	00027
氏名	栄養花子		

受験地	北海道	宮城県	東京都	愛知県	大阪府	山梨県	福岡県	沖縄県
	○	○	●	○	○	○	○	○
受験番号	万	●	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨					
	千	●	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨					
	百	●	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨					
	拾	①	①●④⑤⑥⑦⑧⑨					
	意	①	①②③④⑤⑥●⑦⑨					

正解は「(1)」「(3)」であるから答案用紙の問題番号 202 の①、③をマークすればよい。

202	①	②	③	④	⑤
202	●	②	●	④	⑤

(3) (例 3) の問題では(1)から(4)までの4つの選択肢があるので、そのうち質問に  
対する答えとして最も適切なものを 1つ選び答案用紙に記入すること。なお、  
(例 3) の質問には 2つ以上マークした場合は誤りとする。

(例 3)

203 管理栄養士に求められる専門職としてのあり方に関する記述である。最も適切なのはどれか。 1つ選べ。

- (1) 自らの幸福を追求する。
- (2) 人々の生活の質の向上を目指す。
- (3) 特定の関係者との協働を重視する。
- (4) 免許取得時の知識を維持する。

正解は「(2)」であるから答案用紙の問題番号 203 の②をマークすればよい。

203	①	②	③	④
203	①	●	③	④

#### 4. その他の注意事項

- (1) 答案の作成には H B の鉛筆を使用し濃くマークすること、○の外にはみ出さないように注意すること。  
良い解答の例…… ● (濃くマークすること。)  
悪い解答の例…… ○×○×○○○ (解答にならない。)
- (2) 答えを修正した場合は必ず「消しゴム」あとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり × のような消し方などをした場合は、修正したことにはならないので注意すること。
- (3) 答案用紙は折り曲げたりメモ等で汚したりしないよう特に注意すること。

### 3. 解答方法

解答方法は次のとおりである。

(1) (例 1) の問題では(1)から(5)までの 5 つの選択肢があるので、そのうち質問に  
対する答えを 1 つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例 1) の質問には 2 つ  
以上マークした場合は誤りとする。

(例 1)

201 管理栄養士の名称を用いて業務を開始できると定められている日である。正  
しいのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 合格発表日
- (2) 合格証書受領日
- (3) 管理栄養士免許申請日
- (4) 管理栄養士名簿登録日
- (5) 免許証受領日

正解は「(4)」であるから答案用紙の問題番号 201 の④をマークすればよい。

201	①	②	③	④	⑤
201	①	②	③	<input checked="" type="radio"/>	⑤

(2) (例 2) の問題では(1)から(5)までの 5 つの選択肢があるので、そのうち質問に  
対する答えを 2 つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例 2) の質問には 1  
つ又は 3 つ以上マークした場合は誤りとする。

(例 2)

202 管理栄養士名簿の登録事項に変更が生じた場合、訂正が必要なものである。  
正しいのはどれか。2 つ選べ。

- (1) 氏名
- (2) 住所地
- (3) 本籍地都道府県名(日本の国籍を有しない者については、その国籍)
- (4) 勤務地
- (5) 出身校の所在地

100 運動部に所属する高校生で、行動変容ステージが無関心期(前熟考期)の者に対し、栄養サポートを行うことになった。トランスセオレティカルモデルに基づいた支援内容である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食事内容の改善が競技力向上に及ぼすメリットを考えさせる。
- (2) コンディションが悪くて負けた時の悔しさを想像させる。
- (3) 食事内容の改善に取り組むことをチーム内で宣言させる。
- (4) 練習量が多い日はあらかじめ補食を用意させる。
- (5) 食事内容の改善に家族の協力が得られるかを考えさせる。

101 1人で外出が困難な高齢者への、ソーシャルサポートの内容とその種類の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) バランスのよい弁当の配食を依頼する。 ————— 情動的サポート
- (2) 家族が心配して毎日電話をかける。 ————— 評価的サポート
- (3) NPO が地域の食事会に車で送迎をする。 ————— 道具的サポート
- (4) 車椅子で買物がしやすい食料品店の場所を伝える。 ————— 情動的サポート
- (5) 現在の食事内容の具体的な課題を伝える。 ————— 情報的サポート

102 経済的な困窮のために、「子どもに十分な食事を食べさせてあげられない」と悲嘆している親への栄養カウンセリングにおける、共感的理解を示す記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 「子どもに十分に食べさせてあげられないことが辛いのですね」と返す。
- (2) 経済的に困窮している理由を尋ね、「それはお気の毒ですね」と伝える。
- (3) 子どもの食事記録から、不足の可能性のある栄養素について説明する。
- (4) 地域で開催されている、子ども食堂の場所と参加方法を紹介する。
- (5) 親が言葉を詰まらせた時に、うなずきながら「ゆっくりで良いですよ」と言う。

103 栄養カウンセリング中の肥満症患者の発言である。行動変容への動機づけの高まりを示す発言として、最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 最近、また体重が増えてしまったんですね。
- (2) 水を飲んでも太る体質なんですね。
- (3) 太る原因は、ストレスが多いからでしょうかね。
- (4) やはり、甘いものを控えた方が体重は減りますよね。

104 医師から禁酒を指示された肝臓病の患者である。「1週間は禁酒しましたが、寝つきが悪いと感じ再び飲むようになってしましました」と話す。行動変容技法のうち、認知再構成を意図した管理栄養士の支援である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 「1週間も禁酒できたのですね」と褒める。
- (2) 「お酒の買い置きをやめてみては」と提案する。
- (3) 飲まなくても眠れた日があったことを、思い出させる。
- (4) 再度、家族に禁酒宣言することを、勧める。
- (5) 「飲酒の記録を次の相談日に持参してください」と指示する。

105 減量中の中年女性への栄養教育である。間食を減らすことへの自己効力感を高める支援である。最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 間食でよく食べる食品の、エネルギー量について説明する。
- (2) 間食の頻度と量を記録してもらい、間食を減らせた日を確認し合う。
- (3) 間食を食べ過ぎてしまった状況を思い起こしてもらい、対処方法と一緒に考える。
- (4) 間食で食べたくなる食品は、買い置きしないよう提案する。

106 2型糖尿病の女性である。「菓子をもらったり、食事に誘われたりすることが多く、つい食べ過ぎてしまう」と話す。

ソーシャルスキルトレーニングとして、正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) お腹が空いたら、菓子の代わりに何を食べれば良いかと一緒に考える。
- (2) 職場で配られた菓子を、その場で食べずに済む方法と一緒に考える。
- (3) メールで食事に誘われた時の、断りの文章と一緒に考える。
- (4) 菓子を減らした時の、メリットとデメリットと一緒に考える。
- (5) イライラした時に、菓子を食べる以外の対処方法と一緒に考える。

107 栄養教育を受けた学習者が、学んだことを生かして組織づくりへと展開した事例である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) パパママ教室を受講した父親が、イクメン向けの情報をSNSで発信した。
- (2) 離乳食教室を受講した母親が、育児中の友人と学んだ情報を共有した。
- (3) 食物アレルギー教室を受講した保護者らが、修了者のメーリングリストに登録した。
- (4) PTA対象の環境学習を受講した保護者らが、給食の生ごみで作った堆肥で学校菜園の運営を開始した。
- (5) 炎症性腸疾患の患者会に参加した家族が、会のホームページで体験談を公表した。

108 大学における食環境づくりに関する記述である。食物へのアクセスの整備として、正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 大学内の学生掲示板に、食事バランスガイドのポスターを貼る。
- (2) 大学ホームページに、食堂のメニューとその栄養成分値を掲載する。
- (3) 食堂のモニターに、朝食用の簡単レシピを紹介する動画を流す。
- (4) 食堂のメニューに地場野菜使用と表示し、その野菜を食堂で販売する。
- (5) 大学のSNSに、学生が考案したバランスランチメニューを配信する。

109 栄養教育前に実施するアセスメントの項目例とその調査方法の組合せである。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 腹囲 \_\_\_\_\_ 臨床検査
- (2) 1日のエネルギー消費量 \_\_\_\_\_ 文献調査
- (3) 栄養成分表示の活用状況 \_\_\_\_\_ 食事調査
- (4) 栄養情報の入手可能性 \_\_\_\_\_ 質問紙調査
- (5) 健康観 \_\_\_\_\_ 観察法

110 ラウンドテーブルディスカッションにおいて、管理栄養士がファシリテーターとして初回の進行を務めることになった。初対面の参加者同士の交流を意図した発言である。最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 私が皆さんのお名前を順に読み上げます。
- (2) 名札を胸に貼って、お互いに名前が見えるようにしましょう。
- (3) お一人ずつ、順番に自己紹介をお願いします。
- (4) 隣の人から話を聞いて、その方を紹介する他者紹介をしましょう。

111 保健センターで、第1子の養育者を対象に、地域ぐるみで子どもの健全な発育と発達を目的とした離乳食教室を実施した。その評価の内容と評価の種類の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 細乳食の開始の目安がわかった参加者の割合 \_\_\_\_\_ 結果評価
- (2) 乳児期に避けたい食材がわかった参加者の割合 \_\_\_\_\_ 経過評価
- (3) 細乳食への不安を抱いている地域内の養育者数 \_\_\_\_\_ 総括的評価
- (4) 順調な発育をしている児の割合 \_\_\_\_\_ 形成的評価
- (5) 教室の後、参加者同士で出かけた者の数 \_\_\_\_\_ 影響評価

112 低栄養傾向の高齢者に、月1回、計6回コースの低栄養予防教室を実施した。教室の総費用は12万円であった。教室終了後の目標BMIの達成者は、30名中20名であった。目標達成のための教室の費用効果である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 667円
- (2) 2,000円
- (3) 4,000円
- (4) 6,000円
- (5) 20,000円

113 保育所での食育推進計画の策定にあたり、園児の保護者に対し、プリシード・プロシードモデルに基づいたアセスメントを実施した。アセスメント内容とその項目の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 幼児の体格 ————— 準備要因
- (2) 幼児食について相談できる人の有無 ————— 強化要因
- (3) 保護者の調理の知識 ————— 実現要因
- (4) 保護者の共食に対する考え方 ————— 行動と生活習慣
- (5) 保護者の持つボディイメージ ————— 健康

114 特別支援学校高等部の、料理を作ることが可能な生徒を対象に、調理実習を伴う栄養教育を実施する。対象者と安全に調理するための配慮の組合せである。

誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 視覚障害者 ————— 包丁を使う作業をさせない。
- (2) 聴覚障害者 ————— 後ろから声をかけない。
- (3) 肢体不自由者 ————— 車椅子で作業できる調理台を使う。
- (4) 病弱者 ————— 食事制限の有無を確認する。
- (5) 知的障害者 ————— 次の作業を促す言葉かけを行う。

115 臨床栄養の用語とその内容の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ターミナルケア ━━━━━━ 障害者と健常者の共存
- (2) クリニカルパス ━━━━━━ 医療の標準化
- (3) アドヒアランス ━━━━━━ 痛みを抑える治療
- (4) インフォームド・コンセント ━━ 重症度の判定
- (5) ノーマリゼーション ━━━━━━ 情報開示に対する患者の権利

116 診療報酬における栄養食事指導料の算定に関する記述である。

正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 外来患者は、初回 20 分の栄養食事指導で算定できる。
- (2) 小児食物アレルギー患者の外来栄養食事指導料は、9歳未満の場合に算定できる。
- (3) 入院栄養食事指導料は、入院期間中に 3 回算定できる。
- (4) 集団栄養食事指導料は、外来患者と入院患者が混在した場合も算定できる。
- (5) 集団栄養食事指導料の算定は、1回の対象者数の上限が 20 人である。

117 25% ブドウ糖基本輸液 1,200 mL(1,200 kcal)、総合アミノ酸製剤 600 mL(400 kcal、窒素量 9 g)、20% 脂肪乳剤 100 mL(200 kcal)を投与した。この時の NPC/N(非たんぱく質カロリー窒素比)である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 44
- (2) 67
- (3) 133
- (4) 156
- (5) 200

118 経腸栄養剤の種類とその特徴に関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 成分栄養剤の糖質は、マルトースである。
- (2) 成分栄養剤の窒素源は、ジペプチドである。
- (3) 消化態栄養剤の糖質は、キシリトールである。
- (4) 消化態栄養剤の窒素源は、たんぱく質である。
- (5) 半消化態栄養剤の糖質は、デキストリンである。

119 栄養素とその欠乏の評価に用いる臨床検査項目の組合せである。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) たんぱく質 —— 尿中ケトン体
- (2) ビタミン B<sub>1</sub> —— プロトロンビン時間
- (3) ビタミン C —— 尿中ビリルビン
- (4) カルシウム —— 血清トリグリセリド
- (5) 鉄 ————— 血清フェリチン

120 医薬品の薬理効果に及ぼす食品の影響に関する記述である。□に入る正しいものの組合せはどれか。1つ選べ。

□ a であるカルシウム拮抗薬の薬理効果は、□ b を摂取することにより □ c する。

a

b

c

- |     |      |    |              |        |    |
|-----|------|----|--------------|--------|----|
| (1) | 抗凝固薬 | —— | 納豆           | —————— | 増強 |
| (2) | 抗凝固薬 | —— | グレープフルーツジュース | ——     | 減弱 |
| (3) | 降圧薬  | —— | 納豆           | —————— | 増強 |
| (4) | 降圧薬  | —— | グレープフルーツジュース | ——     | 減弱 |
| (5) | 降圧薬  | —— | グレープフルーツジュース | ——     | 増強 |

121 医薬品とその作用の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) アンジオテンシンII受容体拮抗薬 ----- 尿中ナトリウム排泄抑制
- (2) アンジオテンシン変換酵素阻害薬 ----- 尿中カリウム排泄抑制
- (3) 抗アルドステロン薬 ----- 尿中ナトリウム排泄抑制
- (4) ループ利尿薬 ----- 尿中カリウム排泄抑制
- (5) サイアザイド系利尿薬 ----- 尿中ナトリウム排泄抑制

122 78歳、女性。BMI 17.5 kg/m<sup>2</sup>。大腿骨頸部骨折にて入院。入院前から、歩いて買い物に出かけるのが大変だったと訴えており、朝食はバナナ1本、昼食・夕食は配食サービス1食分を2回に分けて食べていた。エネルギー摂取量不足であった。  
1日の目標エネルギー量は、1,400 kcalである。

SOAPとその内容の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) S ----- BMI 17.5 kg/m<sup>2</sup>
- (2) O ----- 目標エネルギー量は、1,400 kcal/日
- (3) A ----- 朝食は、バナナ1本
- (4) A ----- エネルギー摂取量不足
- (5) P ----- 歩いて買い物に出かけるのが大変

123 クワシオルコルにみられる特徴の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- | 浮腫           | 血清総たんぱく質値 | 肝腫大 |
|--------------|-----------|-----|
| (1) あり ----- | 正常 -----  | あり  |
| (2) あり ----- | 低下 -----  | なし  |
| (3) あり ----- | 低下 -----  | あり  |
| (4) なし ----- | 正常 -----  | あり  |
| (5) なし ----- | 低下 -----  | なし  |

124 45歳、男性。事務職。身長170cm、体重75kg、BMI 26.0 kg/m<sup>2</sup>、腹部CT測定により内臓脂肪面積110 cm<sup>2</sup>であった。血圧125/80 mmHg。空腹時血液検査値は、血糖100 mg/dL、トリグリセリド140 mg/dL。その他、特別な健康障害はみられない。この患者の病態と栄養管理に関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 肥満症である。
- (2) メタボリックシンドロームである。
- (3) 脂質異常症と診断される。
- (4) エネルギー摂取量は、35 kcal/kg 標準体重/日とする。
- (5) 1か月に10%の減量を目標とする。

125 55歳、男性。身長170cm、体重65kg、BMI 22.5 kg/m<sup>2</sup>、普通の労作。血糖コントロール不良により強化インスリン療法(毎食前超速効型インスリンと就寝前持続型インスリンを注射)が導入された2型糖尿病患者の栄養管理に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) エネルギー摂取量は、30~35 kcal/kg 標準体重/日とする。
- (2) 炭水化物エネルギー比率は、50~60%Eとする。
- (3) 食事はインスリン注射後、直ちに摂取する。
- (4) 低血糖発作時には、ブドウ糖を摂取する。
- (5) シックデイ時には、水分の摂取量を制限する。

126 脂質異常症の栄養管理に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 高カイロミクロン血症では、脂質のエネルギー比率を20~30%Eとする。
- (2) 高LDL-コレステロール血症では、飽和脂肪酸の摂取を控える。
- (3) 低HDL-コレステロール血症では、トランス脂肪酸の摂取を控える。
- (4) 高トリグリセリド血症では、アルコール摂取量を25 g/日以下とする。
- (5) 高トリグリセリド血症では、果糖を含む加工食品の摂取を減らす。

127 腸疾患に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 潰瘍性大腸炎では、白血球数の低下がみられる。
- (2) クローン病では、チャイルド分類で重症度を評価する。
- (3) イレウスでは、経腸栄養法を選択する。
- (4) たんぱく漏出性胃腸症では、高たんぱく質食とする。
- (5) 過敏性腸症候群では、抗 TNF- $\alpha$  抗体製剤が用いられる。

128 非代償性肝硬変で上昇する項目である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 血清総コレステロール値
- (2) 血中アンモニア値
- (3) フィッシャー比
- (4) 血漿膠質浸透圧
- (5) 早朝空腹時の呼吸商

129 消化器疾患に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 脂肪肝では、肝細胞内にコレステロールが過剰に蓄積する。
- (2) 非アルコール性脂肪肝炎(NASH)では、インスリン抵抗性が増大する。
- (3) 急性胆嚢炎では、血清 CRP(C 反応性たんぱく質)値が低下する。
- (4) 急性脾炎急性期では、尿中アミラーゼ値が低下する。
- (5) 慢性脾炎非代償期では、グルカゴン分泌が亢進する。

130 合併症のない女性の高血圧症患者の栄養管理に関する記述である。

誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食塩 6 g/日未満とする。
- (2) 魚(魚油)の摂取を推奨する。
- (3) 飽和脂肪酸の摂取を控える。
- (4) カリウムの摂取を制限する。
- (5) エタノールは、10~20 mL/日以下とする。

131 微小変化型ネフローゼ症候群に関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) エネルギー摂取量は、20~25 kcal/kg 標準体重/日とする。
- (2) たんぱく質摂取量は、1.5 g/kg 標準体重/日とする。
- (3) 浮腫がみられる時の水分摂取量は、前日尿量+500 mL とする。
- (4) LDL-コレステロール値は、低下する。
- (5) ステロイド薬の反応は、微小変化型以外のネフローゼ症候群に比べて悪い。

132 55歳、女性。身長160 cm、体重56 kg、BMI 21.8 kg/m<sup>2</sup>。血圧 150/95 mmHg、推算糸球体濾過量(eGFR)93 mL/分/1.73 m<sup>2</sup>、尿たんぱく量 0.5 g/日である。この患者の栄養管理として、食塩は5 g/日とした。1日当たりのエネルギー量とたんぱく質量の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

	エネルギー量 (kcal/日)	たんぱく質量 (g/日)
(1)	1,200	60
(2)	1,200	80
(3)	1,600	45
(4)	1,600	60
(5)	2,100	45

133 63歳、女性。身長155cm、標準体重53kg。週3回の血液透析療法を受けている。ドライウエイト49kg。透析前血清カリウム値5.8mEq/L。この患者の1日当たり目標栄養量の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

	エネルギー量 (kcal/kg 標準体重/日)	たんぱく質量 (g/kg 標準体重/日)	カリウム量 (mg/日)	
(1)	25	1.2	——	制限なし
(2)	30	1.0	——	2,000以下
(3)	30	1.5	——	1,500以下
(4)	35	0.6	——	2,000以下
(5)	35	1.0	——	制限なし

134 バセドウ病に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 基礎代謝量が低下する。
- (2) 腸管蠕動運動が減弱する。
- (3) 血清甲状腺刺激ホルモン(TSH)値が上昇する。
- (4) 血清遊離トリヨードサイロニン(FT<sub>3</sub>)値が上昇する。
- (5) 血清総コレステロール値が上昇する。

135 進行した慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者の栄養アセスメントの結果である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 体重の増加
- (2) 安静時エネルギー消費量の増加
- (3) %1秒量の上昇
- (4) 動脈血酸素分圧(PaO<sub>2</sub>)の上昇
- (5) 血清トランスサイレチン値の上昇

136 新生児の頭蓋内出血を予防するために補給する栄養素である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ビタミン A
- (2) ビタミン K
- (3) ビタミン B<sub>1</sub>
- (4) ビタミン B<sub>12</sub>
- (5) ビタミン C

137 23歳、女性。身長150cm、体重34kg(標準体重50kg)、BMI15.0kg/m<sup>2</sup>。2

週間以上、ほとんど摂食できていない神経性やせ症の患者である。緊急入院させ、静脈栄養管理となった。輸液開始時に投与する1日当たりのエネルギー量である。

最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 500kcal/日
- (2) 1,000kcal/日
- (3) 1,500kcal/日
- (4) 2,000kcal/日

138 骨粗鬆症に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 骨吸収は、閉経後に低下する。
- (2) 骨型アルカリホスファターゼは、骨吸収マーカーである。
- (3) 低カルシウム血症となる。
- (4) 食塩摂取過剰は、リスク因子である。
- (5) 治療には、ステロイド薬が用いられる。

139 消化器手術とその合併症の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食道切除 —— 脂肪吸収障害
- (2) 胃全摘 —— 巨赤芽球性貧血
- (3) 胆囊摘出 —— 低血糖
- (4) 膵臓切除 —— 嘔下障害
- (5) 直腸切除 —— ダンピング症候群

140 重症嚥下障害患者の直接訓練に用いる嚥下訓練食品である。

最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) お茶をゼリー状に固めたもの
- (2) 牛乳にとろみをつけたもの
- (3) ヨーグルト
- (4) りんごをすりおろしたもの

141 メープルシロップ尿症の栄養管理に関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) エネルギーの摂取量を制限する。
- (2) 分枝アミノ酸の摂取量を制限する。
- (3) シスチンの補充を行う。
- (4) 食事療法の評価は、血中チロシン値を用いる。
- (5) 食事療法は、成人期には不要となる。

142 褥瘡に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 大転子部は、好発部位である。
- (2) 貧血は、内的因子である。
- (3) 十分なたんぱく質の摂取量が必要である。
- (4) 亜鉛の摂取量を制限する。
- (5) 30度側臥位は、予防となる。

143 地域における公衆栄養活動の進め方に関する記述である。

誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) PDCA サイクルに基づいた活動を推進する。
- (2) 住民のニーズを把握するため、自治会を活用する。
- (3) 活動を効果的に推進するため、関係機関と連携する。
- (4) 住民の参加は、事業評価段階から行う。
- (5) 行政栄養士は、コーディネータとして活動する。

144 最近の国民健康・栄養調査結果からみた、成人の栄養素等および食品群別の摂取

状況に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 鉄の摂取量は、50歳以上より49歳以下で多い。
- (2) 食物繊維の摂取量は、50歳以上より49歳以下で多い。
- (3) 脂肪エネルギー比率が30%E以上の者の割合は、女性より男性で高い。
- (4) 果実類の摂取量は、男性より女性で多い。
- (5) 乳類の摂取量は、女性より男性で多い。

145 最近の国民健康・栄養調査結果からみた、成人の食塩摂取量に関する記述であ

る。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 過去10年間では、減少している。
- (2) 男性の摂取量は、10g未満である。
- (3) 女性が男性より多い。
- (4) 20~29歳が60~69歳より多い。
- (5) 都道府県の上位群と下位群では、3gの差がある。

146 食料問題に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食料安全保障では、経済的事由による入手可能性は考慮しない。
- (2) わが国の総合食料自給率(供給熱量ベース)は、50% 前後で推移している。
- (3) 食料自給力とは、輸入される食料も含めた潜在的供給能力をいう。
- (4) 食品ロスは、賞味期限切れによって廃棄された食品を含む。
- (5) フードマイレージは、食料の輸送量に作業従事者数を乗じて算出される。

147 開発途上国における健康・栄養問題の現状に関する記述である。

誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 欠乏症が多く認められる栄養素に、ヨウ素がある。
- (2) 栄養不足人口は、増加傾向である。
- (3) 栄養不足人口が最も多いのは、アジア・太平洋地域である。
- (4) 5歳未満児の死亡率は、減少傾向である。
- (5) NCD は、増加傾向である。

148 わが国の行政組織における公衆栄養活動業務に関する記述である。

誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食品の安全性確保の推進は、内閣府が担っている。
- (2) 食育推進基本計画の策定は、農林水産省が担っている。
- (3) 特定保健用食品の表示許可業務は、厚生労働省が担っている。
- (4) 飲食店によるヘルシーメニューの提供の促進は、都道府県が行っている。
- (5) 疾病予防のための栄養指導は、市町村が行っている。

149 公衆栄養関連法規の内容と法規名の組合せである。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 特定健康診査の実施 ————— 医療法
- (2) 食品表示基準の策定 ————— JAS 法
- (3) 食生活指針の策定 ————— 学校給食法
- (4) 低体重児の届出 ————— 母子保健法
- (5) 学校給食実施基準の策定 ————— 健康増進法

150 栄養士法に規定された管理栄養士に関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 健康の保持増進のための栄養の指導を行う。
- (2) 免許は、内閣総理大臣が与える。
- (3) 就業届出制度が規定されている。
- (4) 特定給食施設への必置が規定されている。
- (5) 専門管理栄養士に関する規定がある。

151 国民健康・栄養調査に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 調査は、3年ごとに実施される。
- (2) 国民健康・栄養調査員は、厚生労働大臣が任命する。
- (3) 栄養摂取状況調査は、非連続の2日間実施する。
- (4) 調査結果は、健康日本21(第二次)の評価に用いられる。
- (5) 海外に居住する日本人も対象となる。

152 食生活指針(2016年一部改定)に関する記述である。

誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 生活の質(QOL)の向上を目的としている。
- (2) 食品の組合せは、SV(サービング)を用いて示している。
- (3) 「脂肪は質と量を考えて」としている。
- (4) 「郷土の味の継承を」としている。
- (5) 「食料資源を大切に」としている。

153 健康増進法に定められている事項である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 市町村保健センターの設置
- (2) 市町村健康増進計画の策定
- (3) 市町村食育推進計画の策定
- (4) 特定保健指導の実施
- (5) 生活習慣病の発生状況の把握

154 國際的な公衆栄養活動に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 持続可能な開発目標(SDGs)は、国際連合(UN)が発表している。
- (2) 栄養表示ガイドラインは、国連世界食糧計画(WFP)が策定している。
- (3) フードセキュリティの達成は、国連教育科学文化機関(UNESCO)の設立目的である。
- (4) 自然災害被災地への緊急食料援助は、コーデックス委員会(CAC)が担っている。
- (5) フードバランスシートの策定基準は、世界保健機関(WHO)が定めている。

155 K市において、50歳代女性1,000人を対象とした個人の習慣的なカルシウム摂取量を把握するために、食事調査を行いたい。

この調査法として、最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食事記録法(秤量法)
  - (2) 24時間食事思い出し法
  - (3) 半定量式食物摂取頻度調査法
  - (4) 陰膳法

156 集団を対象とした食事調査によって得られた栄養素摂取量のデータ解析に及ぼす影響と、その解決法に関する記述である。 [ ]に入る正しいものの組合せはどれか。 1つ選べ。

食事調査によって得られた栄養素摂取量について、a の影響を取り除く方法の一つとして、栄養素摂取量を a で除し、単位当たりの栄養素摂取量を算出する方法がある。この方法を b という。また、データの解析段階では、交絡因子の影響を取り除くため、一般的に c が行われている。

a

b

8

- (1) 総エネルギー摂取量 ————— 栄養素密度法 ————— マッチング

(2) 総エネルギー摂取量 ————— 栄養素密度法 ————— 層化

(3) 総エネルギー摂取量 ————— 残差法 ————— マッチング

(4) 総たんぱく質摂取量 ————— 残差法 ————— 層化

(5) 総たんぱく質摂取量 ————— 栄養素密度法 ————— マッチング

157 日本人の食事摂取基準(2015年版)を用いた集団における食事摂取量の評価とその方法の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- |                      |                               |
|----------------------|-------------------------------|
| (1) エネルギーの過剰摂取の評価    | 推定エネルギー必要量(EER)を超えて摂取している人の割合 |
| (2) エネルギーの摂取不足の評価    | BMIの平均値と目標とするBMIの範囲の下限値との差    |
| (3) 栄養素の摂取不足の評価      | 目安量(AI)を下回る人の割合               |
| (4) 栄養素の過剰摂取の評価      | 推奨量(RDA)を上回る人の割合              |
| (5) 生活習慣病の予防を目的とした評価 | 目標量(DG)の範囲を逸脱する人の割合           |

158 保健・栄養関連統計に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食料需給表は、衛生行政報告例から作成される。
- (2) 食中毒の患者数は、食品安全委員会が取りまとめている。
- (3) 乳幼児身体発育曲線は、国民健康・栄養調査から作成される。
- (4) 学校給食実施率は、学校保健統計調査によって把握される。
- (5) 介護が必要となった原因は、国民生活基礎調査によって把握される。

159 公衆栄養マネジメントに関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) マネジメントは、対象集団の特性に合わせて行う。
- (2) 課題解決型アプローチでは、目的設定は専門家主導で行う。
- (3) 計画策定期には、必要な社会資源を確認する。
- (4) 評価は、マネジメントサイクルの各段階について行う。
- (5) 目標で取り上げなかった項目は、評価の対象外である。

160 地域における生活習慣病に対するハイリスクアプローチである。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) スーパーマーケットにおける減塩キャンペーンの実施
- (2) 広報紙による情報提供
- (3) 市民公開講座の開催
- (4) 特定保健指導における積極的支援
- (5) 公共施設におけるポスターの掲示

161 特定給食施設で提供される給食に関する記述である。

誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 利用者の生活習慣に配慮する。
- (2) 利用者の身体状況に配慮する。
- (3) 利用者の嗜好に配慮する。
- (4) 利用者の望ましい食習慣の形成を目指す。
- (5) 利用者は全地域住民を対象とする。

162 給食経営管理におけるサブシステムとその主な目的の組合せである。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 栄養・食事管理 ——— 調理従事者の労働安全性を確保する。
- (2) 献立管理 ———— 具体的な栄養量の基準を設定する。
- (3) 品質管理 ———— 計画した食事・サービスを実現させる。
- (4) 安全・衛生管理 ——— 生産のためのハードウェアの購入を計画する。
- (5) 施設・設備管理 ——— 作業工程に沿った食事の生産を行う。

163 給食経営管理におけるサブシステムとその管理業務の組合せである。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 栄養・食事管理 ——— 遊離残留塩素濃度検査
- (2) 食材料管理 ——— 在庫量調査
- (3) 品質管理 ——— 備品調査
- (4) 安全・衛生管理 ——— 残菜調査
- (5) 施設・設備管理 ——— 提供時の品温調査

164 特定給食施設とそこで働く管理栄養士の業務の組合せである。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 学校給食センター ——— 栄養改善加算に基づく栄養管理
- (2) 事業所 ——— 栄養サポートチームへの参画
- (3) 病院 ——— 栄養指導員としての給食施設の指導
- (4) 介護老人保健施設 ——— 医学的な管理を必要とする利用者の栄養管理
- (5) 児童養護施設 ——— 栄養食事指導料の算定

165 通所介護における栄養管理に関する介護報酬の加算である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 栄養マネジメント加算
- (2) 経口移行加算
- (3) 経口維持加算
- (4) 療養食加算
- (5) 栄養改善加算

166 サイクルメニュー導入の利点に関する記述である。

誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 献立作成業務が軽減できる。
- (2) 食材料発注業務が簡素化できる。
- (3) 調理作業が標準化できる。
- (4) 棚卸し業務が省略できる。
- (5) 食数管理が効率化できる。

167 納食施設における経営資源とその課題の組合せである。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 人的資源 ——— 施設・設備の老朽化
- (2) 物的資源 ——— 労務費の増大
- (3) 資金的資源 ——— 利用者情報の不足
- (4) 情報的資源 ——— 調理従事者の不足
- (5) 時間的資源 ——— 労働生産性

168 納食の運営業務を委託している病院が、納食業務受託事業者の参加を求めて実施すべき業務である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 献立表作成基準の作成
- (2) 食数の注文・管理
- (3) 食事箋の管理
- (4) 嗜好調査の企画・実施
- (5) 検食の実施・評価

169 介護老人保健施設における入所者のモニタリングに関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) BMI を生活習慣から把握する。
- (2) 摂食・嚥下機能を栄養管理報告書により把握する。
- (3) 嗜好を食札により把握する。
- (4) 食事摂取状況を喫食量により把握する。
- (5) 排便の情報を残糞率により把握する。

170 K 小学校に勤務する学校給食栄養管理者である。児童が林間学校に行くにあたり、宿泊施設の予定献立の確認を行う際に、事前に把握が必要な項目である。

最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 地場産食品
- (2) 児童の食物アレルギーの有無
- (3) 児童の嗜好
- (4) 児童の給与エネルギー量

171 事業所給食の汁物の食塩濃度が設計品質と一致しなかった。この適合品質の低下要因である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 材料洗浄時の付着水
- (2) 加熱機器のレイアウト
- (3) 調味のタイミング
- (4) 調理員の熟練度
- (5) ウォーマーテーブルでの保温時間

172 給食の原価管理に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 原価は、生産・販売およびサービス提供のために要した費用である。
- (2) 損益計算書の売上原価には、間接経費が含まれる。
- (3) 損益分岐点比率が高いほど、収益が高い。
- (4) 減価償却費は、変動費に含まれる。
- (5) パートタイム労働者の賃金は、固定費に含まれる。

173 給食の食材管理に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 廃棄部のある食材料は、1人分の純使用量に予定食数を乗じて発注する。
- (2) 即日消費する生鮮食品の納品は、食品受払簿に記録する。
- (3) 冷凍食品の検収では、化学的検査法による鑑別を行う。
- (4) 在庫品の棚卸しは、不定期に行う。
- (5) 期末在庫金額は、期間の食材料費の算定資料となる。

174 給食のオペレーションシステムとそれに関連する事項の組合せである。

正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) レディフードシステム ————— クックサーブ
- (2) コンベンショナルシステム ————— クックフリーズ
- (3) セントラルキッチンシステム ————— サテライトキッチン
- (4) セルフサービスシステム ————— トレイメイク
- (5) POSシステム ————— マーケティング

175 給食における調理作業の人員配置のために必要な情報である。

誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 調理機器の処理能力
- (2) 作業ごとの標準時間
- (3) 料理ごとの調理時間
- (4) 調理従事者の能力
- (5) 購入食材料の履歴

176 大量調理における品質向上のための留意点に関する記述である。

誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) でんぶんの多い食品の煮物では、加熱時間を少量調理より短く設定する。
- (2) 揚げ物では、油への食品の1回投入量を、低下した油温の回復時間が短くなるよう設定する。
- (3) 汁物の最初の水量は、加熱中の蒸発率が少量調理より大きいことを考慮して決定する。
- (4) 和え物の調味では、供食までの時間が短くなるよう食材の全体量を分割する。
- (5) 炒め物の野菜の洗浄開始時刻は、洗浄後の水切り時間を確保し決定する。

177 大量調理施設における衛生管理に関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 施設の衛生管理者を指名するのは、都道府県知事である。
- (2) 調理施設の点検表の結果は、6か月ごとに報告する。
- (3) 検便検査には、腸管出血性大腸菌を含めない。
- (4) 手指に化膿創がある調理従事者は、手袋を着用して調理作業に従事する。
- (5) 納入業者は、原材料の微生物検査結果を提出する。

178 学校における食物アレルギー事故の防止に関わる者と、その役割の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 教育長 ————— 校内の食物アレルギー対応委員会の組織化
- (2) 学校給食栄養管理者 ————— 緊急措置方法の立案
- (3) 養護教諭 ————— 給食における作業手順の整理
- (4) 保護者 ————— 学校生活管理指導表の提出
- (5) 学級担任 ————— 原因となる食品を除去した献立の作成

179 給食の安全・衛生管理に配慮した施設・設備に関する記述である。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 窓は、十分な換気を行うために、開けておく。
- (2) 排水中の油分を除去するためには、グレーチングを設置する。
- (3) シンクの排水口は、排水が飛散しない構造のものとする。
- (4) 配膳室の床は、排水のために勾配を設ける。
- (5) 調理従事者専用トイレの手洗いは、厨房の手洗い設備と併用できる。

180 事業所給食の食堂に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食堂の床面積は、1人について $1\text{m}^2$ とする。
- (2) 食堂スペースは、提供方式を考慮して決める。
- (3) 利用者のすれ違いがある場合は、テーブル間の間隔を80cmとする。
- (4) 食堂内では、受動喫煙防止に配慮する。
- (5) サンプルケースの照度は、食堂より高いことを目安とする。

次の文を読み「181」、「182」に答えよ。

K 産科クリニックに勤務する管理栄養士である。医師の指示のもと、妊婦の栄養カウンセリングを担当している。

妊婦は、30歳、妊娠28週目、初産婦。フルタイムの仕事(座位中心)をしている。身長160cm、体重49.0kg(妊娠前45.0kg)、血圧132/80mmHg、空腹時血液検査値は、ヘモグロビン11.6g/dL、血糖88mg/dL、LDL-コレステロール120mg/dL、HDL-コレステロール60mg/dL、トリグリセリド100mg/dL。喫煙習慣なし。飲酒習慣なし。

前日の1日の食事内容を聞き取った(表)。平日はほぼこれに近い食事をしているという。

表 1日の食事内容

朝食 (7時、家)	昼食 (12時半、職場)	間食 (16時、職場)	夕食 (20時、家)
トースト (8枚切1枚)	豚しゃぶの パスタサラダ (1人前)	ミルクティー (1杯)	ごはん (軽く1杯100g)
スライスチーズ (1枚)	野菜サラダ (1人前)	クッキー(2枚)	納豆(1パック)
ヨーグルト(1個)	飲むヨーグルト (1本)		ポテトコロッケ (1個)
りんご(100g)			ゆで卵入 野菜サラダ (1人前)
カフェオレ(1杯)			

※夕食のポテトコロッケとゆで卵入野菜サラダはスーパーマーケットの惣菜

181 聞き取った内容を基に、栄養カウンセリングで、取り上げるべき重要課題である。

最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 主食の摂取量を増やすこと。
- (2) カルシウムの摂取量を増やすこと。
- (3) 果物の摂取量を増やすこと。
- (4) 野菜の摂取量を増やすこと。

182 妊婦は、自分の食生活について、特に課題はないと言う。栄養カウンセリングで、最初に行う内容である。最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 料理をすることのメリットとデメリットをあげてもらい、デメリットを減らすアドバイスをする。
- (2) 食事調査の結果を、妊娠婦の食事バランスガイドに照らして説明し、どのように思ったか意見を聞く。
- (3) 夫に家事を手伝ってもらうなど、ソーシャルサポートの活用を話し合う。
- (4) 特にアドバイスはせず、困ったことがあれば、問い合わせてもらうよう、連絡先を渡す。

次の文を読み「183」、「184」、「185」に答えよ。

K市の市立保育園に勤務する管理栄養士である。保育園に通う女児A子(9か月)の母親への栄養の指導を行っている。

母親から、A子が家庭で離乳食をあまり食べないので心配との相談を受けた。

A子は、身長72.5cm、体重8.7kg。精神・運動機能の発達は良好である。

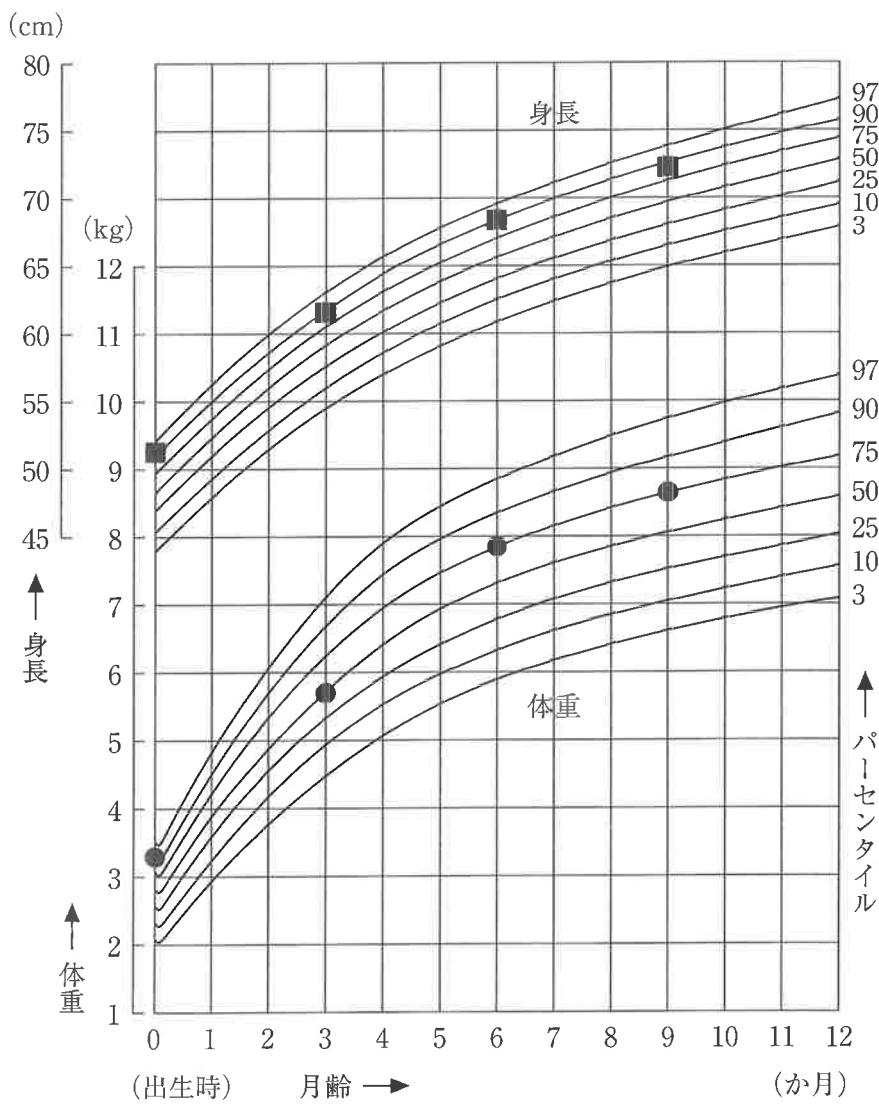


図 乳児身体発育曲線(女子)

183 A子の出生時からの身長と体重の変化を乳児身体発育曲線に示した(図)。A子の栄養アセスメントの結果である。最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 体重は標準的な発育曲線であるが、低身長である。
- (2) 身長は標準的な発育曲線であるが、低体重である。
- (3) 身長、体重ともに離乳食開始後の発育不良が懸念される。
- (4) 身長、体重ともに標準的な成長状態である。

184 離乳食の与え方について、母親にたずねた。現在、離乳食は歯ぐきでつぶせる固さで1日3回与えており、母乳は欲しがるときに飲ませているという。この内容に対する栄養アセスメントである。最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 月齢に応じた離乳食の与え方である。
- (2) 月齢に応じた離乳食の調理形態として、不適切である。
- (3) 月齢に応じた離乳食の回数として、多すぎる。
- (4) 母乳を与え過ぎている。

185 栄養アセスメントの結果を踏まえた管理栄養士の発言である。

最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 月齢どおりの与え方ができていますね。あまり心配せず、見守ってあげましょう。
- (2) お子さんが食べやすい、ペースト状のおかずにしてはいかがですか。
- (3) 食べないことが心配であれば、離乳食を2回に減らしてみては、いかがですか。
- (4) お子さんに母乳をあげる回数を、決めましょう。

次の文を読み「186」、「187」に答えよ。

K 総合病院に勤務する管理栄養士である。緩和ケアチームによるラウンドを行っている。

患者は、73歳、男性。昨年、膀胱がんに対して手術を行った。先月来院時に肺への転移が確認され、積極的治療を希望したため、再入院し、1か月の抗がん剤治療を開始した。

再入院時の身長 165 cm、体重 60 kg、血圧 136/80 mmHg、空腹時血液検査値は、赤血球 410 万/ $\mu$ L、アルブミン 3.7 g/dL、尿素窒素 14 mg/dL、クレアチニン 1.1 mg/dL。

186 治療開始後より、嘔気が出現し、食欲が低下してきたため、これまでの一般食の食事内容を見直した。見直し後の食事内容の1例として、最も適切なのはどれか。

1つ選べ。

- (1) ごはん、鮭のホイル焼き、肉じゃが、りんご
- (2) 全粥、かれいの煮魚、切り干し大根の煮物、りんごゼリー
- (3) ピザトースト、グラタン、コーンスープ、りんご
- (4) ざるそば、冷奴、小松菜のお浸し、りんごゼリー

187 治療開始1週間後に、さらに嘔気が強くなり、食事摂取量が必要栄養量の1/3以下となり、体重も1週間で3%以上減少した。この時点での栄養管理の方針である。最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 嗜好を重視して食事摂取量の増加を図る。
- (2) 経鼻胃管チューブによる経腸栄養法を開始する。
- (3) 胃瘻による経腸栄養法を開始する。
- (4) 中心静脈栄養法を開始する。

次の文を読み「188」、「189」、「190」に答えよ。

K 診療所に勤務する管理栄養士である。居宅療養管理指導を行っている。

患者は、75歳、女性。脳梗塞を発症し、左片麻痺を患いながら自宅療養している。意識ははっきりしており、嚥下障害は認めない。食事は買ってきてもらったレトルト粥、パン、牛乳などを自分で選んで食べているが、摂取エネルギー量が500 kcal/日と少ない。

身長146 cm、体重35 kg、空腹時血液検査値は、ヘマトクリット33%、赤血球380万/ $\mu\text{L}$ 、アルブミン2.6 g/dL、血糖96 mg/dL、トリグリセリド80 mg/dL、尿素窒素11 mg/dL、クレアチニン0.6 mg/dL。

188 今後の栄養管理である。最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) このままの食事を継続し、モニタリングを続ける。
- (2) 主食をめしに変更して、1日の摂取エネルギー量を1,500 kcalとする。
- (3) 食事以外の水分摂取として、現状より500 mL増やす。
- (4) 間食として栄養補助食品(200 kcal、たんぱく質7 g)を追加する。

189 1週間後に再訪問したところ、体重が2 kg増加していた。考えられる理由として、最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 浮腫の増悪
- (2) 便秘
- (3) 脱水の改善
- (4) 体脂肪量の増加

190 再訪問後の栄養管理である。最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) たんぱく質摂取量を増やす。
- (2) 食物繊維摂取量を増やす。
- (3) 増加させた水分摂取量 500 mL を継続する。
- (4) 脂肪摂取量を減らす。

次の文を読み「191」、「192」に答えよ。

地域密着型介護老人福祉施設 K 荘に勤務する管理栄養士である。食事介助を担当している介護スタッフからの質問に対応している。

入所者は、76 歳、男性。1 年前より入所しており、CKD(慢性腎臓病)に対するケアを行ってきた。しかし、病態が悪化して、人工血液透析に移行した。

身長 169 cm、体重 58 kg、アルブミン値 3.6 g/dL、尿量ほとんど無し。

191 施設ではこれまで、透析中の入所者に対応したことがなかったため、介護スタッフから透析移行後の食事の留意点を質問された。

その回答として、最も適切なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 魚類と肉類の摂取量を少なくする。
- (2) 生野菜の摂取量を多くする。
- (3) 水分摂取を控える。
- (4) 間食を止める。

192 数日後、施設レクリエーションでバス旅行が決まった。その日の昼食はレストランで天ぷら定食を食べることが決まっており、介護スタッフより配慮すべき点を質問された。その回答として、最も適切なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) ごはんを半分量にする。
- (2) 魚介類の天ぷらを全量残す。
- (3) 野菜料理を追加する。
- (4) 汁物と漬物を控える。

次の文を読み「193」、「194」、「195」に答えよ。

K 事業所に勤務する管理栄養士である。来年度から始める体重管理プログラムを検討している。K 事業所の従業員は 1,000 人(男性：300 人、平均年齢 42 歳、女性：700 人、平均年齢 37 歳)であり、近年、高血圧と糖尿病の罹患者が増加している。表 1 は K 事業所の従業員の今年度の BMI の分布である。なお、K 事業所の来年度のプログラム実施の予算は 100 万円である。

表 1 K 事業所の今年度の男女別 BMI の分布

	全体(1,000 人)	男性(300 人)	女性(700 人)
やせ( $18.5 \text{ kg/m}^2$ 未満)	155(15.5%)	15(5.0%)	140(20.0%)
普通( $18.5 \sim 25.0 \text{ kg/m}^2$ 未満)	640(64.0%)	150(50.0%)	490(70.0%)
肥満( $25.0 \text{ kg/m}^2$ 以上)	205(20.5%)	135(45.0%)	70(10.0%)

193 K 事業所が掲げる、来年度の健康づくりの結果目標である。

最も適切なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 男性の肥満( $25.0 \text{ kg/m}^2$  以上)の割合を減らす。
- (2) 女性のやせ( $18.5 \text{ kg/m}^2$  未満)の割合を減らす。
- (3) 男女とも肥満( $25.0 \text{ kg/m}^2$  以上)の割合を減らす。
- (4) 男女ともやせ( $18.5 \text{ kg/m}^2$  未満)の割合を減らす。

194 K 事業所と同系列の A 事業所と B 事業所が先行して体重管理プログラムを実施していた。A 事業所は集団学習の教室(プログラム総費用 20 万円)、B 事業所はアプリを活用したプログラム(プログラム総費用 100 万円)である。表 2-1 と表 2-2 は、それぞれの取組前後の BMI の分布である。K 事業所は、これら取組のいずれかを来年度実施することにした。どちらを選択するかの理由である。

最も適切なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 実施後、参加者の肥満者は 0 人になっているため、A 事業所の取組の方がよい。
- (2) プログラム 1 回 20 万円でできるので、5 回実施できることから、A 事業所の取組の方がよい。
- (3) アプリを使った取組は、実施者側の負担が少ないため、B 事業所の取組の方がよい。
- (4) 取組の費用効果が良いため、B 事業所の取組の方がよい。

195 来年度に実施するプログラムを選択した K 事業所が、そのプログラムを実施する上で、優先すべき注意点である。最も適切なのはどれか。1 つ選べ。

- (1) 参加者を増やすようにする。
- (2) 男女の人数割合を同じようにする。
- (3) やせを増やさないようにする。
- (4) 費用をできるだけ安くするようにする。

表2－1 体重管理教室実施前後のBMIの分布(A事業所)

	合計(30人)		男性(10人)		女性(20人)	
	事前	事後	事前	事後	事前	事後
やせ (18.5 kg/m <sup>2</sup> 未満)	2 (6.7%)	3 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (10.0%)	3 (15.0%)
普通 (18.5~25.0 kg/m <sup>2</sup> 未満)	15 (50.0%)	27 (90.0%)	0 (0.0%)	10 (100.0%)	15 (75.0%)	17 (85.0%)
肥満 (25.0 kg/m <sup>2</sup> 以上)	13 (43.3%)	0 (0.0%)	10 (100.0%)	0 (0.0%)	3 (15.0%)	0 (0.0%)

A事業所全体1,000人(男性300人、女性700人)、プログラム総費用20万円。

表2－2 体重管理アプリ利用前後のBMIの分布(B事業所)

	合計(300人)		男性(100人)		女性(200人)	
	事前	事後	事前	事後	事前	事後
やせ (18.5 kg/m <sup>2</sup> 未満)	15 (5.0%)	20 (6.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	15 (7.5%)	20 (10.0%)
普通 (18.5~25.0 kg/m <sup>2</sup> 未満)	165 (55.0%)	260 (86.7%)	10 (10.0%)	90 (90.0%)	155 (77.5%)	170 (85.0%)
肥満 (25.0 kg/m <sup>2</sup> 以上)	120 (40.0%)	20 (6.7%)	90 (90.0%)	10 (10.0%)	30 (15.0%)	10 (5.0%)

B事業所全体1,000人(男性300人、女性700人)、プログラム総費用100万円。

次の文を読み「196」、「197」、「198」に答えよ。

K県の健康増進課の管理栄養士である。K県の健康増進計画を検討している。K県の健康課題は、脳血管疾患であり、死亡率は全国平均より高い。食生活の特徴では、野菜摂取量、果物摂取量(中央値)はそれぞれ5 SV/日と1 SV/日である。これまで、野菜摂取量の目標は5 SV/日、果物摂取量の目標は2 SV/日と設定してきている。また、食塩摂取量(平均値)は11 g/日である。

196 食生活の目標を考えるうえで、脳血管疾患と野菜および果物摂取に関連する前向きコホート研究論文を参考にした。表は野菜および果物摂取による脳血管疾患罹患の相対危険の結果である。この結果の解釈である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 野菜は、2 SV/日未満の摂取と比較し、2～5 SV/日の摂取で、相対危険が有意に低下する。
- (2) 野菜は、2 SV/日未満の摂取と比較し、5 SV/日超の摂取で、相対危険は低下するが、有意ではない。
- (3) 果物は、2 SV/日未満の摂取と比較し、2～5 SV/日の摂取で、相対危険が有意に低下する。
- (4) 果物は、2 SV/日未満の摂取と比較し、5 SV/日超の摂取で、相対危険は低下するが、有意ではない。
- (5) 野菜と果物ともに、2 SV/日未満の摂取で、相対危険が有意に低下する。

197 研究結果を参考に、K県の現状を踏まえ、野菜と果物の摂取に関する地域住民への推奨内容を考えた。推奨内容として、最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 野菜は現状維持で、果物を増やす。
- (2) 野菜を増やし、果物は現状維持する。
- (3) 野菜、果物ともに増やす。
- (4) 野菜、果物ともに現状維持する。

198 野菜や果物の摂取に関する推奨を施策化する上で、考慮しなければならない事項である。最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 野菜の調理法
- (2) 食事中の野菜摂取のタイミング
- (3) 野菜の種類
- (4) 1日の中での果物摂取のタイミング

表 野菜および果物摂取による脳血管疾患罹患の相対危険(95%信頼区間)

食物摂取頻度調査による群分け			
	< 2 SV/日 <sup>†</sup>	2 ~ 5 SV/日	> 5 SV/日
野菜 相対危険 (95% 信頼区間)	1.0	0.93 (0.82 - 1.06)	0.81 (0.72 - 0.90)
果物 相対危険 (95% 信頼区間)	1.0	0.89 (0.82 - 0.98)	0.72 (0.66 - 0.79)

†基準群

次の文を読み「199」、「200」に答えよ。

K 小学校に勤務する栄養教諭である。単独校方式で 600 食の給食を提供している。その日の献立は、パン、鮭のムニエル、ブロッコリーのサラダ、じゃがいもとキャベツのスープ、牛乳である。図は、食品の動線図である。

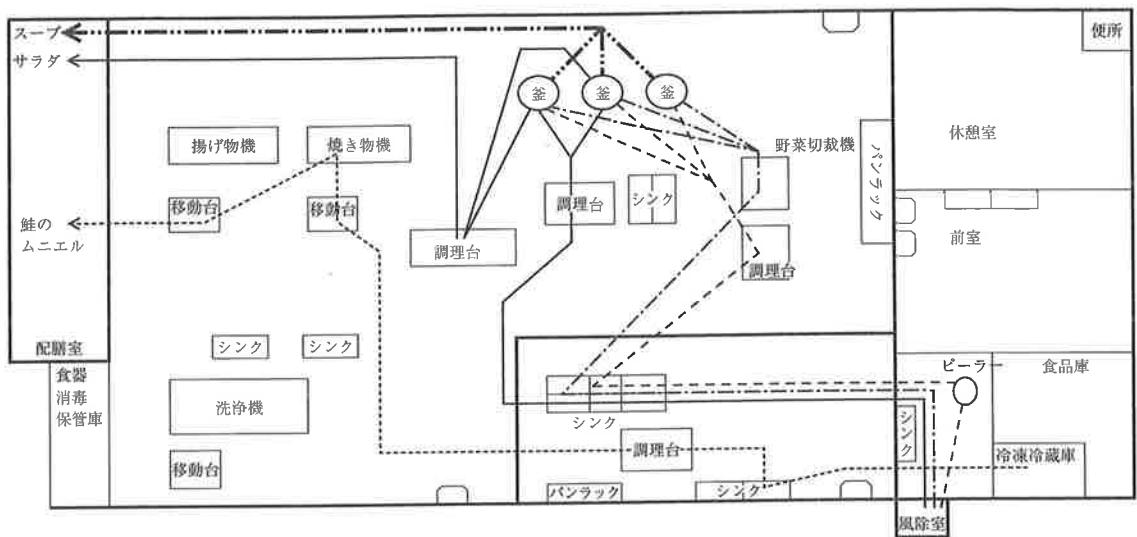
199 作業工程で時間帯をずらして行った方が良い作業の組合せである。

最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) キャベツの洗浄作業 ————— 鮭の調味作業
- (2) ブロッコリーのゆで作業 ————— キャベツの切裁作業
- (3) サラダの調味作業 ————— 鮭の焼き作業
- (4) スープの配缶作業 ————— サラダの配缶作業

200 ピーラーが故障し、当日の作業工程の変更をしなければならなくなった。予定では、A 班はじゃがいもの下処理と鮭のムニエルを、B 班はサラダを、C 班はスープを担当することになっていた。変更内容として、最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) A 班のみで、じゃがいもの皮むきを行い、鮭の焼き時間を遅らせる。
- (2) B 班が、ブロッコリーをゆでた後、冷却中にじゃがいもの皮むきを手伝い、その後サラダを仕上げる。
- (3) C 班が、キャベツの洗浄・切裁を終えた後、じゃがいもの皮むきを手伝い、その後スープの加熱と調味を行う。
- (4) A 班、B 班、C 班の全員が、じゃがいもの皮むきを行い、その後それぞれ予定の作業を行う。



----- 鮭  
 ——— プロッコリー  
 - - - - じゃがいも  
 - - - - キャベツ  
 - - - - スープ(じやがいもとキャベツ)

図 食品の動線図

平成 31 年 3 月 29 日

【照会先】

健 康 局 健 康 課 栄 養 指 導 室  
室 長 清野 富久江 (内線 2978)  
室長補佐 塩澤 信良 (内線 2333)  
栄養管理係 田中 早苗 (内線 2972)  
(代表電話) 03(5253)1111  
(直通電話) 03(3595)2440

### 第 33 回管理栄養士国家試験の合格発表

平成 31 年 3 月 3 日 (日) 、東京都ほか計 8 地区において実施した第 33 回管理栄養士国家試験の合格者を平成 31 年 3 月 29 日 (金) 午後 2 時 厚生労働省、各試験地の国家試験係において発表します。

なお、受験者数 17,864 名のうち合格者数は 10,796 名であり、合格率は 60.4% です。

[配布資料一覧]

1. 第 33 回管理栄養士国家試験の結果について
2. 第 33 回管理栄養士国家試験正答

# 1. 第33回管理栄養士国家試験の結果について

平成31年3月3日実施  
平成31年3月29日合格発表

## 1) 合格基準

配点を1問1点とし、次の合格基準を満たす者を合格とする。

総合点 120点以上／200点

## 2) 合格状況

受験者 17,864名 合格者 10,796名 合格率 60.4%

(参考) 年次別受験者数、合格者数、合格率

	平成27年 (第29回)	平成28年 (第30回)	平成29年 (第31回)	平成30年 (第32回)
受験者数	19,884	19,086	19,472	17,222
合格者数	11,068	8,538	10,622	10,472
合格率	55.7%	44.7%	54.6%	60.8%

## 3) 学校区別合格者状況

	受験者数	合格者数	合格率
管理栄養士養成課程 (新卒)	9,574名	9,140名	95.5%
管理栄養士養成課程 (既卒)	1,508名	271名	18.0%
栄養士養成課程 (既卒)	6,782名	1,385名	20.4%

## 2. 第33回管理栄養士国家試験 正答

問番号	正答	問番号	正答	問番号	正答	問番号	正答
1	2	51	5	101	3	151	4
2	3	52	3	102	1かつ5	152	2
3	2	53	3	103	4	153	2かつ5
4	5	54	4	104	1かつ3	154	1
5	4	55	2	105	2	155	3
6	3	56	2	106	3	156	2
7	4	57	4	107	4	157	5
8	2	58	2	108	4	158	5
9	4	59	4	109	4	159	5
10	1かつ2	60	4	110	4	160	4
11	5	61	2かつ3	111	5	161	5
12	3	62	2	112	4	162	3
13	5	63	5	113	2	163	2
14	5	64	1	114	1	164	4
15	2	65	3	115	2	165	5
16	4	66	5	116	2かつ4	166	4
17	5	67	4	117	4	167	5
18	1	68	5	118	5	168	4
19	2	69	1	119	5	169	4
20	5	70	3	120	5	170	2
21	1	71	4	121	2	171	2
22	3	72	5	122	4	172	1
23	2	73	5	123	3	173	5
24	3	74	4	124	1	174	3かつ5
25	2	75	1かつ5	125	5	175	5
26	4	76	4	126	1	176	3
27	3	77	3	127	4	177	5
28	3	78	4	128	2	178	4
29	5	79	2	129	2	179	3
30	3	80	2	130	4	180	3
31	2	81	5	131	3	181	1
32	4	82	5	132	4	182	2
33	4	83	3	133	2	183	4
34	1	84	3	134	4	184	1
35	5	85	4	135	2	185	1
36	1	86	3	136	2	186	4
37	4	87	5	137	1	187	2
38	3	88	4	138	4	188	4
39	5	89	2	139	2	189	1
40	3	90	4	140	1	190	1
41	5	91	3	141	2	191	3
42	2	92	2	142	4	192	4
43	3	93	4	143	4	193	3
44	5	94	4	144	4	194	4
45	3	95	2	145	1	195	3
46	2	96	2	146	4	196	3
47	3	97	4	147	2	197	3
48	2	98	2	148	3	198	1
49	1	99	4	149	4	199	3
50	2	100	2	150	1	200	4